

(二) 土 地

1. 地 勢

本県は大体本洲の中央に位し、四圍はすべて他県に接境しているため全く海岸線はない。

地形上北部の飛驒高地、南東部の東濃山地と南西部の西濃平野に三大別される。

飛驒高地は東方の長野県との境界に連なる飛驒山脈と西方に連なる白山大山脈との間で、高度1,500米内外の大高原を形成し、河川はこの高地の間に峡谷を成して北流し富山湾に入る高原川、宮川、白川と南流して木曾川と合流する飛驒川、長良川と合流する津保川、板取川でこれらは揖斐川とともに伊勢湾に注いでいる。

東濃山地は木曾山脈の末端と飛驒山脈の余脈で作られ、東境に名高い恵那山(2,190m)がそびえ、河川は飛驒、木曾両山脈を分つ木曾川が信濃島居峠附近に源を發し、本県に入り此処で絶景に富む峡谷を作りつつ西濃平野に向う。又その他土岐川、矢作川は木曾山脈に平行する断層縁に沿い、北方の村知川も断層谷にその流路を求めて流れている。

西濃平野は濃飛平野の一端をなすもので、東方を東濃山地の丘陵地、西方を伊吹、養老両山脈の断層崖に限られている。本県の三大河川木曾、長良、揖斐三川はこの間を緩やかに流れ、南部に及ぶにつれ数多の支流、分流とともに複雑な水路網を作り、灌漑、舟運の便に富んでいるが水害も又多く、そのため村落の周圍に堤防をめぐらした「輪中」の發達はこの地方の特色である。

2. 本 縣 の 位 置

		經 度	場 所			緯 度	場 所
極 東	東 經	137.38	吉城郡 上宝村	極 南	北 緯	35.08	海津郡 大江村
極 西	東 經	136.17	揖斐郡 坂内村	極 北	北 緯	36.27	吉城郡 船津町
県 庁	東 經	136.45	北 緯	35.25			岐阜市 司町一

3. 市 町 村 別 面 積

郡市町村別	面 積	町 村 別	面 積	町 村 別	面 積	町 村 別	面 積
總 計	10,494.70	葭 部 村	5.74	笠 松 町	1.62	大 江 村	7.43
		厚 見 村	3.39	柳 津 村	2.82	江 津 山 村	10.05
		那 加 木 宮 村	14.10	柳 枝 近 熊 村	4.46	村 村 村	15.01
市 計	263.67	更 前 村	3.49	足 小 村	3.99	石 城 村	23.72
		前 宮 村	5.69	福 壽 村	5.31		
郡 計	10,231.03	前 宮 村	21.72	竹 鼻 村	3.35	養 老 郡 計	206.95
		各 務 原 町	17.94	正 木 村	5.38	高 田 町	5.74
岐 阜 市	80.29	岩 芥 町	11.94	江 吉 村	8.84	養 老 郡 計	206.95
大 垣 市	53.07	見 野 村	4.43	堀 中 村	2.58	高 田 町	19.39
高 山 市	75.83	野 見 村	12.54	江 中 村	3.87	高 田 町	3.79
多 治 見 市	54.48	黒 方 村	7.71	上 島 村	4.60	高 田 町	10.33
		野 見 村	14.81	下 島 村	5.21	高 田 町	15.78
稻 葉 郡 計	144.51	羽 島 郡 計	87.11	桑 原 村	10.30	池 笠 小 多 日 村	10.29
鏡 島 村	3.75	川 中 上 下 八 村	8.10	海 津 郡 計	99.37	池 笠 小 多 日 村	7.63
島 橋 村	4.75	島 屋 村	4.84	高 須 町	9.41	池 笠 小 多 日 村	4.33
江 村	3.79	栗 栗 村	3.64	今 尾 西 里 江 村	11.55	池 笠 小 多 日 村	3.09
置 波 村	5.23	羽 栗 村	4.18	吉 東 村	7.42	池 笠 小 多 日 村	4.53
日 佐 鷄 村	3.49	劍 村	4.02		8.84	池 笠 小 多 日 村	19.42
						池 笠 小 多 日 村	14.62
						池 笠 小 多 日 村	51.67
						池 笠 小 多 日 村	36.34